

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社イメージ・ラボ

訓練実施施設名: イメージ・ラボ梅田C教室

問合せ先住所:

〒 5 3 0 - 0 0 2 7  
大阪府大阪市北区堂山町1番5号 三共梅田ビル5階 事務局

問合せ電話番号: 06-6311-3681

■土日祝日訓練の有無:

全日あり /  一部あり /  なし

■法定講習に係る補講:

あり  なし /  有料  無料

■相モデルによる訓練:

あり  なし

■合同開催による訓練:

あり  なし

訓練の種類	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種		
	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)	訪問介護員、施設介護員		
訓練科名	☆初任者研修と同行援護養成研修科					
募集期間(予定)	令和6年12月3日 ~ 令和6年12月20日					
選考日(予定)	令和7年1月6日					
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 筆記試験	<input type="checkbox"/> その他( )		
選考結果通知日	令和7年1月14日					
訓練期間	令和7年1月27日 ~ 令和7年3月26日 (2 か月) (訓練日数 36 日)					
訓練時間	9時10分 ~ 16時50分			訓練定員	25 名	
訓練対象者の条件	特になし					
訓練推奨者 (特定の者を認定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 母子家庭の母等		
訓練目標 (仕上がり像)	介護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師からの確かな指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。					
訓練修了後に取得 できる資格	名称 ( 介護職員初任者研修 ) 認定機関 ( 株式会社イメージ・ラボ )			任意受験		
	名称 ( 同行援護従業者養成研修一般課程 ) 認定機関 ( 株式会社イメージ・ラボ )			任意受験		
	名称 ( 同行援護従業者養成研修応用課程 ) 認定機関 ( 株式会社イメージ・ラボ )			任意受験		
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)						
訓練概要	介護従事者に必要な制度、倫理観と認知症ケアや障がい者に関する知識を学科で理解・吸収していただきます。そして、所内の実技演習で介護技術を習得し、実際に企業実習で経験を深めます。(日によって訓練時間が異なる場合がありますため、詳細については、訓練校にお問い合わせ下さい。)(職場見学等推進)					
訓練内容	科目	科目の内容			訓練時間	
	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式・オリエンテーション(3H) 修了式(3H)				
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則			1時間	
	職務の理解	多様なサービスと理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解			6時間	
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権啓発に係る基礎知識			9時間	
	介護の基本	介護職の役割・専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全			6時間	
	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障がい者総合支援制度およびその制度			9時間	
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション			6時間	
	老化の理解	老化に伴うことからの変化と日常、高齢者と健康			6時間	
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うことからの変化と日常生活、家族への支援			6時間	
	障がいの理解	障がいの基礎的理解、障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・かかわり支援の基礎的理解、家族の心理、かかわり支援の理解			3時間	
	ことごとからのしくみと生活支援	介護の基本的な考え方、介護に関することからのしくみの基礎的理解、介護に関することからのしくみの基礎的理解			23時間	
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における事例			4時間	
	修了評価	筆記試験(介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目の筆記試験)			1時間	
	同行援護の知識	障がい者(児)福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、同行援護従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者(児)の心理、介助の基礎知識			16時間	
就職支援	面接指導、履歴書作成指導、ジョブ・カード作成支援			5時間		
ことごとからのしくみと生活支援技術	生活と家事、快適な居住環境整備と介護、ことごとからのしくみと自立に向けた介護(整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠)、終末期介護、利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習			53時間		
同行援護の演習	同行援護における基本介助技術			18時間		
企業実習	<input type="checkbox"/> 実施しない	<input checked="" type="checkbox"/>	実施する		28時間	
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「介護員としての心構え」1時間×2回			2時間		
	【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間			1時間		
訓練時間総合計	203時間	学科 101時間	実技 71時間	企業実習 28時間	職場見学等 3時間	
受講者の負担する費用	教科書代			0円	合計 380円	
	その他 ( 同行援護の演習に係る交通費 )			380円		
	備考 ( 企業実習に係る交通費実費、健康診断料800円(税込)、法定講習欠席に係る補講費1回:3,000円(税込)は別途発生 )					
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する				
		<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	<input type="checkbox"/> オンライン計	時間	
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学に加え、ロールプレイングやグループワーク等の体験学習を積極的に取り入れ、学習効果を高める。介護ベッド等、介護現場で使用されている介護器材を使用し、様々な介護場面における介護技術を習得する。				
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講義及び実技・演習を通じて、受講生が介護に対する取り組み方や考え方が理解できているか、習得度を講師が常に把握し、理解が深まっていない受講生に対しては、訓練終了後に個別に対応を行う。					



【最寄駅】地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分  
 地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分  
 JR大阪駅より徒歩約10分

### 訓練カリキュラム(企業実習用)

科目		科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	心とからだのしくみと生活支援技術 生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援	27時間
	その他	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間